

認知症患者における眼科診療の実態調査

研究概要

本研究の対象

小山田記念温泉病院で、平成25年8月1日から26年7月31日までに、眼科の診察を希望して受診した認知症患者さんを対象とします。

本研究の意義

わが国においては今後のますます増加する認知症に対する医療体制の整備が必要です。認知症専門医による医療だけでなく、患者さんの感覚器障害、特に視覚、聴覚についての専門的な医療も必要で、介護を行うに場合も、その患者さんがどのような視機能や聴覚機能を持っているかが重要な情報となります。しかし認知症患者さんにおいて眼科的検査が不可能なことが多く視機能の把握は困難で、また患者さんの眼科的異常を訴える能力が劣っていることも観察されます。そこで、認知症患者さんが眼科領域の異常を生じたときに、どのようにその異常が発見され、また介護する医療スタッフや家族に伝わって眼科受診に至るかや、その後の治療経過を知ることは、今後の医療にとって重要な情報となりうると思われま

本研究の目的

平成25年8月1日から26年7月31日までの1年間における認知症患者さんの眼科受診動機と眼科的異常の発見経緯、眼科的所見、その後の治療の実態を明らかにすることを目的としています。

本研究の方法

平成25年8月1日から26年7月31日までの1年間に眼科受診をされた患者さんで、認知症と診断されている患者さんの眼科カルテを調べ、また他科の診療内容を参考にして、眼科診療の実態を明らかにします。

研究者氏名

本研究は小山田記念温泉病院に所属する眼科医 宇治幸隆が担当します。

個人情報保護に関する配慮

本研究実施に際していかなる個人情報も院外に出ることはありません。本研究で得られた結果に関しては、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。

また医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがありますが、個人を特定されないように対処した上で行われます。ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡ください。その場合も診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

2014年11月

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

医療法人社団主体会 小山田記念温泉病院 眼科

研究責任者 宇治幸隆

連絡先 059-328-1260